【令和4年度認知症介護実践者研修】

◆研修用アセスメントシート (※本研修用の様式であって完全なものではありません) 課題分析 (アセスメント) に関する項目

([」)
	ノ

10) 健康状態	グループ番号: 受講番号: 氏名:
これまでに罹った 病気	
 現在治療中の病気 	
使用している薬剤	< 内服薬 > < 外用薬 > < 市販薬 >
	□処方通りに使用している □ときどき処方通りにしようしていない □ほとんど処方通りに使用していない □処方されていない
痛み	生活に支障をきたす痛みが □ない □ある → 痛みの部位やその程度:
転倒頻度	過去に転倒したことが □ない □ある → 時期と頻度:
生活習慣	□飲酒 → 1日の摂取量: □喫煙 → 本/1日
障害老人自立度	□自立 □J1 □J2 □A1 □A2 □B1 □B2 □C1 □C2 → 判断した根拠:
認知症老人の 日常生活自立度	□自立 □I □IIa □IIb □IIIa □IIb □IV □M → 判断した根拠:
特記事項	
11) ADL	
寝返り	□自分で出来る □見守りがあれば出来る □部分的に手伝えば出来る □動作のほと んどを手伝えば出来る □自分では出来ず、介護者に全て援助してもらう
起き上がり	□自分で出来る □見守りがあれば出来る □部分的に手伝えば出来る □動作のほと んどを手伝えば出来る □自分では出来ず、介護者に全て援助してもらう
移乗	□自分で出来る □見守りがあれば出来る □部分的に手伝えば出来る □動作のほと んどを手伝えば出来る □自分では出来ず、介護者に全て援助してもらう
屋内の移動	□自分で出来る □見守りがあれば出来る □部分的に手伝えば出来る □動作のほと んどを手伝えば出来る □自分では出来ず、介護者に全て援助してもらう
屋外の移動	□自分で出来る □見守りがあれば出来る □部分的に手伝えば出来る □動作のほと んどを手伝えば出来る □自分では出来ず、介護者に全て援助してもらう
上半身の更衣	□自分で出来る □見守りがあれば出来る □部分的に手伝えば出来る □動作のほと んどを手伝えば出来る □自分では出来ず、介護者に全て援助してもらう
下半身の更衣	□自分で出来る □見守りがあれば出来る □部分的に手伝えば出来る □動作のほと んどを手伝えば出来る □自分では出来ず、介護者に全て援助してもらう
食事	□自分で出来る □見守りがあれば出来る □部分的に手伝えば出来る □動作のほと んどを手伝えば出来る □自分では出来ず、介護者に全て援助してもらう
トイレの使用	□自分で出来る □見守りがあれば出来る □部分的に手伝えば出来る □動作のほと んどを手伝えば出来る □自分では出来ず、介護者に全て援助してもらう

11) ADL

整容(整髪・爪切り)	□自分で出来る □見守りがあれば出来る □部分的に手伝えば出来る □動作のほと んどを手伝えば出来る □自分では出来ず、介護者に全て援助してもらう
入浴	□自分で出来る □見守りがあれば出来る □部分的に手伝えば出来る □動作のほと んどを手伝えば出来る □自分では出来ず、介護者に全て援助してもらう
主な移動手段 (屋内)	□器具なしで歩行 □杖を使用して歩行 □老人車・歩行器で歩行 □車椅子・電動車 椅子で移動 □寝たきり
主な移動手段 (屋外)	□器具なしで歩行 □杖を使用して歩行 □老人車・歩行器で歩行 □車椅子・電動車 椅子で移動 □寝たきり
階段昇降	□自分で出来る □見守りがあれば出来る □部分的に手伝えば出来る □動作のほと んどを手伝えば出来る □自分では出来ず、介護者に全て援助してもらう
活動状況	過去3日において身体を動かした時間の合計(散歩など) □なし □1時間未満 □1~2時間 □3~4時間 □4時間以上
外出頻度	□ほとんど毎日 □週2~3回程度 □週1回程度 □月1回 □外出したことがない
特記事項	

12) IADL

調理	□自分で行った □時々手伝ってもらい自分で行った □常に手伝ってもらい自分で 行った □介護者が全て行った □この活動は一度も行われていない
掃除	□自分で行った □時々手伝ってもらい自分で行った □常に手伝ってもらい自分で 行った □介護者が全て行った □この活動は一度も行われていない
洗濯	□自分で行った □時々手伝ってもらい自分で行った □常に手伝ってもらい自分で 行った □介護者が全て行った □この活動は一度も行われていない
身の回りの 整理整頓	□自分で行った □時々手伝ってもらい自分で行った □常に手伝ってもらい自分で 行った □介護者が全て行った □この活動は一度も行われていない
金銭管理	□自分で行った □時々手伝ってもらい自分で行った □常に手伝ってもらい自分で 行った □介護者が全て行った □この活動は一度も行われていない
薬の管理	□自分で行った □時々手伝ってもらい自分で行った □常に手伝ってもらい自分で 行った □介護者が全て行った □この活動は一度も行われていない
 電話の利用 	□自分で行った □時々手伝ってもらい自分で行った □常に手伝ってもらい自分で 行った □介護者が全て行った □この活動は一度も行われていない
 買い物	□自分で行った □時々手伝ってもらい自分で行った □常に手伝ってもらい自分で 行った □介護者が全て行った □この活動は一度も行われていない
外出(交通手段の 利用)	□自分で行った □時々手伝ってもらい自分で行った □常に手伝ってもらい自分で 行った □介護者が全て行った □この活動は一度も行われていない
特記事項	

13) 認知	
記憶	覚えることが □できる □時々出来る □できない
記息	思い出すことが 口できる 口時々出来る 口できない
	時間が □わかる □時々わかる □わからない
	日にちが 口わかる 口時々わかる 口わからない
見当識	曜日が 口わかる 口時々わかる 口わからない
ルコペ	季節が □わかる □時々わかる □わからない
	今居る場所が □わかる □時々わかる □わからない
	相手が誰なのか 口わかる 口時々わかる 口わからない
失行	行為の手順が □わかる □時々わかる □わからない
7.11	道具や物の使い方が □わかる □時々わかる □わからない
失認	見えている対象物が何か □わかる □時々わかる □わからない
入心	空間における物の位置関係が □わかる □時々わかる □わからない
失語	言葉の意味が □わかる □時々わかる □わからない
実行能力	計画を立てたり、順序立てた行動が □できる □時々できる □できない
日常の意思決定を 行うための認知 能力	□首尾一貫して理にかなった行動が出来る □新しい場面に直面すると困難がある □特別な状況に直面すると合図や見守りが必要 □常に合図や見守りが必要 □判断できないか、まれに判断できる □認識できる意識がない
せん妄の兆候 (過去3日間に おいて)	□なにも行動はない □行動はあるが、普段とおなじ □新たな行動があり、普段と違う □集中力がない □支離滅裂な会話がある □精神機能が一日の中で変動する
うつ状態、不安、 悲しみの気分の	過去3日間においてうつや不安、悲しみ等の気分の訴えが 口ない
北候	□ある → 具体的に:
	※HDS-RやMMSEなど認知症の評価スケールの過去3ヶ月以内の結果などがあれば 記載しておくこと
特記事項	
14) コミュニケーシ	ョン能力
T+-L /++T+00 <i>55</i>	 □日常の会話やテレビを見ることに支障がない □普通の声では聞き取りにくく、聞き

聴力(補聴器等 使用した状況で判 断してもよい)	□日常の会話やテレビを見ることに支障がない □普通の声では聞き取りにくく、聞き間違える □耳元で大きな声で話したり、ゆっくり話したりすると何とか聞こえる□ほとんど聞こえない □認知症などで意思疎通ができず、聞こえているかどうかの判断できない
他者に自分のことを理解させる能力	□理解させることが出来る □通常は理解させることが出来る □言葉が見つけたり、考えがまとまらないが、しばしば理解させることが出来る □具体的な要求のみ理解させることが出来る □ほとんど理解出来ない
他者を理解する能力	□理解できる □通常は理解できる □一部を理解できず、言い直しが必要なときがある □単純で直接的なコミュニケーションであれば理解できる □ほとんど理解できない
視力(眼鏡等使用した状況で)	□新聞や雑誌の文字が見える □新聞の見出し程度なら見える □身の回りに置かれている物などが識別できる □明るさや暗さや物が動いていることがわかる □視力がない □認知症などで意思疎通が出来ず、見えているのか判断できない
視力矯正の道具	□使用していない □使用している → □眼鏡 □コンタクトレンズ □拡大鏡 (ルーペ) □その他 (
特記事項	

	15) 社会との関わり	
		関心のある活動への参加 □ない → どのくらいないか: □ある → その頻度:
	社	家族や友人の訪問・交流 □ない → どのくらいないか: □ある → その頻度:
	社会関係 	家族や知り合いに対する恐れ □ない □ある → 具体的に:
		ネグレクト(遺棄・放置)、粗末に扱われる、虐待される □ない □ある → 具体的に:
	社会的活動の変化	社会的、宗教的、あるいは仕事や趣味活動への参加がこの3ヶ月間で □減っていない □減っている → その状況:
	孤立	日中1人きりでいる時間は □1時間未満 □1~2時間 □2~8時間 □8時間以上 さみしいと思っているか □思っている □思っていない
	特記事項	
	排尿	□失敗しない □カテーテルや瘻があり、失敗しない □まれに失敗する □ときどき 失敗する □頻繁に失敗する □常に失敗する □尿の排泄はなかった
	排泄用具	□なし □コンドームカテーテル □留置カテーテル □膀胱瘻、腎瘻、尿管皮膚瘻 オムツやパットの使用 □なし □あり → 種類:
	排便	□失敗しない □瘻があり、失敗しない □まれに失敗する □ときどき失敗する □頻繁に失敗する □常に失敗する □便の排泄はなかった
	特記事項	
	特記事項 17) 褥瘡・皮膚の	問題
		問題 □褥瘡はない □持続した発赤部分がある □皮膚層の部分的喪失 □皮膚の深いくぼ み □筋層や骨の露出 □判定不能(壊死性の痂皮で覆われている等)
	17)褥瘡・皮膚の褥瘡・潰瘍	□褥瘡はない □持続した発赤部分がある □皮膚層の部分的喪失 □皮膚の深いくぼ
	17)褥瘡・皮膚の 褥瘡・潰瘍 褥瘡既往	□褥瘡はない □持続した発赤部分がある □皮膚層の部分的喪失 □皮膚の深いくぼみ □筋層や骨の露出 □判定不能(壊死性の痂皮で覆われている等)
	17) 褥瘡・皮膚の 褥瘡・潰瘍 褥瘡既往 皮膚のその他の	□褥瘡はない □持続した発赤部分がある □皮膚層の部分的喪失 □皮膚の深いくぼみ □筋層や骨の露出 □判定不能 (壊死性の痂皮で覆われている等) 褥瘡の既往が □ない □ある → 褥瘡のあった時期とその部位: 褥瘡以外の皮膚潰瘍が □ない
	17)褥瘡・皮膚の 褥瘡・潰瘍 褥瘡既往	□褥瘡はない □持続した発赤部分がある □皮膚層の部分的喪失 □皮膚の深いくぼみ □筋層や骨の露出 □判定不能(壊死性の痂皮で覆われている等) 褥瘡の既往が □ない □ある → 褥瘡のあった時期とその部位: 褥瘡以外の皮膚潰瘍が □ない □ある → その部位と程度: 挫傷(打ち身)、発疹、痒み、斑点、帯状疱疹、あせも(間擦疹)、湿疹などが
	17) 褥瘡・皮膚の 褥瘡・潰瘍 褥瘡既往 皮膚のその他の	□褥瘡はない □持続した発赤部分がある □皮膚層の部分的喪失 □皮膚の深いくぼみ □筋層や骨の露出 □判定不能 (壊死性の痂皮で覆われている等) 標瘡の既往が □ない □ある → 褥瘡のあった時期とその部位: 「「大きない」 □ある → その部位と程度: 「大きない」 □ある → その部位: 「大きなどが日本のでは、「「大きなどが日本のでは、「「大きなどが日本のでは、「「大きなどが日本のでは、「大きなどが日本のでは、「大きなどが日本のでは、「大きなどが」」では、「大きなどが日本のでは、「大きなどが」」では、「大きなどが」では、「大きなどが」では、「大きなどが」では、「大きなどが」では、「大きなどが、「「大きなどが」では、「大きなどが、「「大きなどが、「「大きなどが、「「大きなどが、「「大きなどが、」」では、「大きなどが、「「大きなどが、「「大きない」では、「大きなどが、「「大きなどが、「「大きなどが、」」では、「大きなどが、「「大きなどが、「「大きなどが、」」では、「大きなどが、「「大きない」では、「大きない」があります。「「大きない」があります。「「大きない」では、「大きない」があります。「「大きない」があります。「「大きない」があります。「「大きない」があります。「「大きない」があります。「「大きない」があります。「「大きない」があります。「「大きない」があります。「「大きない」があります。「「大きない」があります。「「大きない」があります。「「大きない」があります。「「大きない」があります。「「大きない」があります。「「大きない」があります。「「いきない」があります。「「いきない」があります。「「いきない」があります。「「いきない」があります。「いきない」があります。「いきない」があります。「いきない」があります。「いきない」があります。「いきない」があります。「いきない」があります。「いきない」があります。「いきない」があります。「いきない」があります。「いきない」があります。「いきない」があります。「いきない」があります。「いきない」があります。「いきない」があります。「いきない」があります。「いきない」は、「いきない」があります。「いきない」があります。「いきないます。」「いきない」があります。「いきない」は、「いきない」は、「いきない」があります。「いきない」は、「いきない。」は、「いきない」は、「いきない」は、「いきない。」は、「いきない」は、「いきないまない。」は、「いきない」は、「いきない。」は、「いきない」は、「いきない。」は、「いきない。」は、「いきない。」は、「いきない。」は、「いきない。」は、「いきない。」は、「いきない。」は、「いきない。」は、「いきないまないまない。」は、「いきないまない。」は、「いきないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな
	17) 褥瘡・皮膚の 褥瘡・潰瘍 褥瘡既往 皮膚のその他の	□褥瘡はない □持続した発赤部分がある □皮膚層の部分的喪失 □皮膚の深いくぼみ □筋層や骨の露出 □判定不能(壊死性の痂皮で覆われている等) 褥瘡の既往が □ない □ある → 褥瘡のあった時期とその部位: 「ある → その部位と程度: 挫傷(打ち身)、発疹、痒み、斑点、帯状疱疹、あせも(間擦疹)、湿疹などが □ない □ある → その部位: 外傷や2度、3度の火傷、回復過程の手術創などが □ない □ある → その部位と程度:
	17)褥瘡・皮膚の 褥瘡・潰瘍 褥瘡既往 皮膚のその他の 問題	□褥瘡はない □持続した発赤部分がある □皮膚層の部分的喪失 □皮膚の深いくぼみ □筋層や骨の露出 □判定不能(壊死性の痂皮で覆われている等) 標瘡の既往が □ない □ある → 褥瘡のあった時期とその部位: 「「ある → その部位と程度: 「ととして、「といるです。」といる。 ○ 本の部位と程度: 「といるです。」といるです。 ○ 本の部位: 「「ない □ある → その部位: 「「ない □ある → その部位: 「「ない □ある → その部位: 「「ない □ある → その部位と程度: 「一方のです。」といるです。 ○ 本の部位と程度: 「一方のです。」といるです。 ○ 本のです。 ○ 本ののです。 ○ 本のです。 ○ 本のです

18) 口腔衛生	
歯科口腔	□問題なし □義歯使用(取り外しの出来る補綴物) □自分の歯が折れている、欠け ている等の異常がある □□の渇きを訴える □咀嚼困難を訴える
特記事項	
19)食事摂取	
栄養状態	□過去1ヶ月間に体重が5%減少、または半年前に比べ体重が10%減少 □1日1%未満の水分摂取 □水分排出量が摂取量を超えている
食事摂取	□自立 □自分で加減している □固形物を飲み込むのに調整を要する □液体を飲み 込むのに調整を要する □裏ごしした固形物ととろみをつけた液体しか飲み込むことが 出来ない □経□摂取と経管栄養/経静脈栄養の混合 □経鼻経管栄養のみ □腹部の 栄養のみ □経静脈栄養のみ □この活動はなかった
栄養管理	栄養管理が □不要 □必要 → □食物形態の加工(ソフト食・刻み・とろみ等) □低塩分(g/日) □カロリー制限(kcal/日) □低脂肪(g/日) □その他()
特記事項	
20) BPSD	
BPSD(認知症の行動・心理症状)に 関する項目	□被害的 □作話 □感情が不安定 □昼夜逆転 □同じ話をする □大声を出す □介護に抵抗 □落ち着きなし □一人で出たがる □収集癖 □物や衣類を壊す □ひどいもの忘れ □独り言・独り笑い □自分勝手に行動する □話がまとまらない 上記の項目に該当した場合、その頻度とその時の様子(言動など) →
特記事項	
21) 介護力	
家族関係	家族との強い支援的な関係が □ある □ない → いつから?:
援助者と本人との 関係と同居	□子、義理の子 □配偶者 □パートナー □親・後見人 □兄弟姉妹 □その他親戚 □友人 □近所 □いない → ※同居 □同居している □同居していない
援助内容	過去3日間の援助内容 □ADL分野 □IADL分野 → 頻度と内容:
援助者の状況	□これ以上援助は続けられない □援助者は苦悩や怒り、うつを表現する □援助者が 利用者の状態により憔悴している
特記事項	

22)店仕塓項	
周辺の環境	緊急通報(電話回線・緊急アラーム装置など) が □ない □ある 援助なしで行ける日用品の店が □ない □ある 日用品の配達を頼むことが出来る店が □ない □ある
屋内の環境	□問題なし □バリアフリー □家の荒廃 □不潔 □不十分な冷暖房 □安全の欠如 □家や屋内に段差等があり出入りが困難 → 修繕の必要のある場所:
特記事項 (間取り図等)	
23) 特別な状況	
特別な医療	<処置内容> □点滴の管理 □中心静脈栄養 □透析 □ストーマの管理 □酸素療法 □酸素療法 □レスピレーター □気管切開の処置 □疼痛の看護 □経管栄養 <特別な対応>□モニター測定(血圧・心拍・酸素飽和度等) □褥瘡の処置 <排泄失敗への対応>□カテーテル(コンドームカテーテル・留置カテーテル等)
 入院・緊急外来	過去3ヶ月間に □医師の診察を受けた □救急外来を受診した □入院した
家計の切り詰め	過去1ヶ月間にお金がないことで次の項目のうち、1つを得るためにほかの1つをあきらめなければならなかった。①十分な食事 ②住むところ ③服 ④処方薬の購入 ⑤十分な暖房や冷房 ⑥必要な治療 □このような事実があった □このような事実はなかった
ケアニーズの変化	過去3ヶ月間においてケア目標を □達成した □達成できなかった 3ヶ月前のアセスメントと比較して全体の状態が □改善した □変化なし □悪化した <改善・悪化した項目>
特記事項	